

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

2018 年頭挨拶（2面）

竹内 希六・新潟県社会福祉協議会会長

小田 敏三・新潟県共同募金会会長

- 賛助会員の社会貢献事業紹介
- ねんりんピック秋田大会で優勝の太極拳チームが知事に報告
- 県災害福祉広域支援ネットワーク協議会・支援チームが研修

1月号

2018

第785号



絵 高橋 郁丸「雪太郎」（漫画家・新潟市中央区）・文 11面

年頭挨拶



社会福祉法人
新潟県社会福祉協議会
会長
竹内 希 六

新年明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、日頃から社会福祉の推進に、ひとかたならぬご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

現在、少子高齢社会が一層進展する中で、我が国では、社会福祉法の改正をはじめ、さまざまな改革が行われ、地域共生社会の実現に向け、持続可能な社会保障制度への移行が進められています。

一方、深刻化する介護施設等の福祉人材不足への対応が大きな課題となっており、人口減少や核家族化に伴い、地域における支え合い機能が低下する中、地域福祉活動の

拡充・強化も喫緊の課題となっております。

新潟県社会福祉協議会といたしましては、福祉に従事する方々が誇りを持って働ける環境づくりに努めるとともに、福祉職を目指す人の増加にもこれまで以上に力を入れていきたいと考えております。

また、「共に生き共につくる福祉社会」を目指して、地域での支え合いの構築や、社会的弱者の権利擁護の推進に向けて、さらなる取り組みを進めて参ります。

一層のご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



社会福祉法人
新潟県共同募金会
会長
小田 敏 三

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昭和22年に国民たすけあい運動として始まった共同募金運動も71回目を迎え、昨年度までに寄せられた寄附金の累計は236億円余りとなりました。

これもひとえに皆様方からの温かいご支援・ご協力の賜物であり、改めて心より感謝申し上げます。

平成29度は目標額を4億7300万円と定めその達成に向けて懸命に取り組んでおり、皆様方からお寄せいただいた寄付金は県内の民間福祉活動やボランティア活動、更には災害ボランティアへの支援などに活用させていただきます。

また、1月からは新しい取り組みである「にいがた・新テーマ型募金」も始まりました。これは、障害者支援や貧困対応など特定のテーマに絞って助成を受ける団体が積極的に募金活動に参加するプロジェクトです。

新潟県共同募金会は、これからも県内の地域福祉活動を支援するため、更なる努力を続けてまいります。

赤い羽根共同募金運動に今後ともなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶いたします。

謹賀新年

- (一財)新潟県民生委員児童委員協議会
会長 長谷川 剛
- (一財)新潟県老人クラブ連合会
会長 光 村 利 寛
- (社)新潟県母子寡婦福祉連合会
会長 中 野 キン子
- (社)新潟県手をつなぐ育成会
理事長 五十嵐 勝 彦
- (社)新潟県老人福祉施設協議会
会長 高 橋 是 司
- 新潟県ホームヘルパー協議会
会長 石 黒 裕 里 子
- 新潟県保育連盟
理事長 平 澤 正 人
- 新潟県私立保育園連盟
会長 伊 東 一 男
- 新潟県保育士会
会長 星 野 正 子
- 新潟県社会福祉法人経営者協議会
会長 田 宮 崇
- (公社)新潟県社会福祉士会
会長 星 井 勝 博
- (公社)新潟県介護福祉士会
会長 宮 崎 則 男
- 新潟県内社協職員連絡会
会長 浅 野 泰 彦
- 新潟県社会就労センター連絡協議会
会長 寺 口 能 弘
- (社)新潟県介護支援専門員協会
会長 佐 々 木 勝 則
- 新潟県災害福祉広域ネットワーク協議会
会長 竹 内 希 六
- (新潟ユニゾンプラザ入居福祉団体)

県災害福祉広域支援ネットワーク協議会

災害福祉支援チームが図上訓練

実際の現場に即した対応考える

新潟県内13福祉関係団体で構成する「新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」の災害福祉支援チーム研修会が11月17日、新潟ユニゾンプラザ（新潟市中央区）で開催されました。福祉施設職員ら約60人が参加し、災害時を想定した図上訓練などでスキルアップを目指し奮闘していました。

行います。原則として県知事からの要請を受けて被災地に派遣されます。

図上訓練は8、9人ずつの7班に分かれ、「3月11日12時30分、県内陸北部を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生、下越地方で震度7を観測、余震が続く。ネットワーク協議会ではチーム派遣を決定し、あなたに出勤を依頼、下越の指定避難所に出掛けたい」という設定で開始。東北福祉大学教授の都築光一さんらのサポートを受けて、活動内容や分担などの検討を進めました。実際に派遣された際に、それぞれの局面でどのような対応をするべきなのかを考えました。

災害対策本部に支援チームであることを報告する訓練では、チームの存在を知らないという設定の本部職員が対

災害福祉支援チームは、県内を5地区に分けて地区ごとに配置し、災害時に構成団体の福祉専門職などを避難所や福祉避難所などに派遣、高齢者や障がいのある人など必要配慮者に対して支援活動を



活発な意見を出し合いながら活動内容などを検討した図上訓練

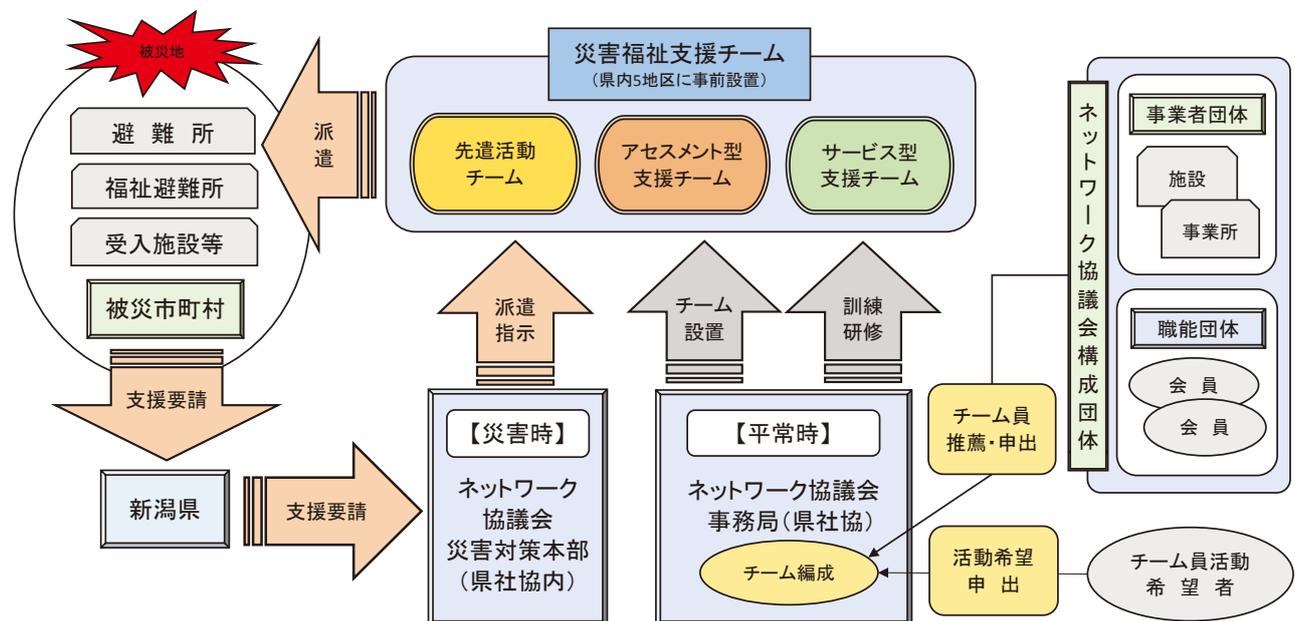


「ボランティア団体ですか？」など、なかなか「支援チーム」を理解してもらえなかった報告訓練

応、制限時間内で「誰が、何のために来たのか」を説明することの難しさを体感していました。

図上訓練に先立ち、訓練の助言役でもある東北福祉大学教授の都築さんの「災害派遣福祉チームによる活動の必要性」と題した講義が行われ、岩手県災害福祉広域支援推進機構事務局（岩手県社会福祉協議会）の加藤良太さんから「平成28年台風10号被害（岩手県岩泉町）における岩手県災害派遣福祉チームの活動」について実践報告が行われました。

災害福祉支援チームの派遣



優しさあふれる明日へ

県社会福祉協議会の諸事業を支える賛助会員に53社・団体が加入しています。その賛助会員の地域社会での貢献活動を紹介します。

一般社団法人 生命保険協会新潟県協会

生命保険協会新潟県協会（井上淳次会長）は今年も11月28日、新潟ユニゾンプラザ（新潟市中央区）で社会福祉などの分野で活動している県内のボランティアグループ15団体に、物品購入費として112万円を寄贈しました。併せて、社会福祉法人長岡市社会福祉協議会に福祉巡回車1台を贈りました。

職員らの募金でボランティア団体支援

午前中に行われた贈呈式には、井上会長、竹内希六・新潟県社会福祉協議会会長のほか、ボランティアグループ11団体が出席しました。井上会長は「助成活動などを通して多くの方々への支援の一助となれば良いと思います」とあいさつ、各団体に寄贈目録を手渡しました。受け取った「特定非営利活動法人障がい者団体新潟自遊心」など各団体の代表者は、お礼を述べる

とともに、活動内容および物品の活用方法について紹介しました。

午後からは福祉巡回車の寄贈式が行われ、井上会長から長岡市社協の野口正博常務理事に「ゴールドンキー」が手渡されました。野口常務理事は「訪問介護に活用したい」と寄贈への感謝を述べました。

社会貢献・CR活動に積極的に取り組む新潟県協会は、加盟する保険会社で働く職員・営業職員ら5000人からの募金を財源に、毎年実施しています。

福祉巡回車は今までに今回も併せて25台を県内の福祉施設などに寄贈、ボランティアグループの活動に必要な器材や物品購入費を助成した団体は266に上り

ます。平成18年度からはAED（自動体外式除細動器）を20カ所に設置、新潟県の自殺予防防キャンペーンの提供

このほか、生命保険協会本部主催事業として、介護福祉士養成奨学金制度と保育士養成奨学金制度により、本年度は県内の合わせて5人に奨学金を提供しています。



井上会長（左）から巡回福祉車のゴールドンキーが野口常務理事に手渡されました



助成を受けたボランティア団体と生命保険協会新潟県協会メンバー

高齢者の健康増進や生きがいづくりに取り組む民間非営利団体を対象とした「元氣シニア応援団」に対する助成活動（県内1団体）と放課後児童クラブの受け皿拡大などを目指す「子育てと仕事両立支援助成活動」（県内1団体）にも寄与、使用済み切手の収集と献血、特に不足がちとなる冬季キャンペーンにも積極的に協力しています。読み聞かせによる「家族のきずな」推進活動やいのちの電話、骨髓バンクのPRなどにも努めています。

生命保険協会新潟県協会
新潟市中央区万代4-1-11
太陽生命新潟ビル7F
☎025(245)8981
<http://www.seiho.or.jp/>

加盟社一覧
アカサ生命・朝日生命・アフラック・エヌエヌ生命・オリックス生命・かんぽ生命・ジブラルタル生命・住友生命・ソニー生命・損保ジャパン日本興亜ひまわり生命・第一生命・大同生命・太陽生命・東京海上日動あんしん生命・日本生命・富国生命・ブルデンシャル生命・マニユライフ生命・三井住友海上あいおい生命・三井生命・明治安田生命・メットライフ生命（50音順）

|| 随時掲載 ||

賛助会員を募集しています！！

新潟県社会福祉協議会では、本会の趣旨に賛同し運営に協力・連携していただける企業・団体または個人を募っています。

県社協では、地域福祉の推進に向けさまざまな活動を行っています。この活動をさらに充実していくためには、より多くの自主財源の確保が必要となります。皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

◇当会機関誌「福祉にいがた」（毎月発行）をお送りいたします。

◇「福祉にいがた」で会員の皆様を紹介いたします。

- ・年1回、会員一覧を掲載いたします。
- ・適宜、会員企業、団体の社会貢献活動を誌面で紹介します。

◇会費（年会費）

企業・団体等	1口	10,000円
個人	1口	1,000円

◇問い合わせ・申し込みは

社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会 総務管理課
〒950-8575 新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階
電話 025 (281) 5520 Fax 025 (281) 5528
ホームページ <http://www.fukushiniigata.or.jp/>



福祉NEWS

2017年11月11日～2017年12月10日

■認知症割合 日本が最多

日本の認知症患者の割合(有病率)は、経済協力開発機構(OECD)加盟35か国の中で最も高いことが11月10日、OECDが発表した2017年度版の医療に関する報告書でわかった。年齢が上がるほど認知症有病率は高まる傾向にあり、日本は世界で最も高齢化が進んでいるためと見られる。報告書では、日本の人口に対する認知症有病率は2.33%で、OECD平均(1.48%)を大きく上回っている。2位はイタリアの2.25%、3位はドイツの2.02%だった。日本の有病率は20年後の37年にはさらに上昇し、3.8%に達すると推定されている。

■高齢入所者7割再犯 犯罪白書

法務省が11月17日に発表した今年の「犯罪白書」で、2016年に刑務所などに入った65歳以上の「高齢入所者」は、7割が2回以上入所した再犯者だったことが分かった。白書は「高齢者らの再犯防止対策の充実が喫緊の課題」と分析。同省は「自治体や民間とのネットワークの構築など連携の強化に取り組む」としている。

■介護人材不足 県内でも深刻

高齢化が進む中、介護職の担い手不足が県内でも深刻化している。来春卒業予定の大学生の就職内定率(10月末現在)が過去最高となる「売り手市場」

で就職先の選択肢が広がり、「きつい」「汚い」など3Kのイメージがある介護職への就職希望者は減少している。介護関連施設や関係機関は職場環境のアピールに懸命だが、需要とのギャップは広がる一方だ。

新潟県労働局によると、県内の2016年度の有効求人倍率は全職種の1.22倍に対し、介護関連職種は2.46倍と近年上昇が続いている。デイサービスなどの日勤職場は比較的応募があるが、夜勤や泊まり勤務がある特別養護老人ホームなどは厳しい。特に若い世代が敬遠しがちで、県内の介護福祉士の養成校の定員に対する充足率は15年度から5割を割っている。

三条市で権利擁護のための講演とシンポジウム 成年後見制度を知り、その活用を考える

三条市総合福祉センターで12月9日、権利擁護特別講演会「聞いて納得！備えて安心！知っておきたい成年後見制度」（新潟県社会福祉協議会・三条市・三条市社会福祉協議会主催）が開かれ、およそ130人の市民や関係者らが成年後見制度の活用などについて考えました。

特別講演会では、最初に弁護士の中澤泰二郎さんが寸劇を基に成年後見制度の必要性や制度内容を解説しました。実例をベースにした寸劇は、昼間から酒を飲



成年後見を考える導入部として演じられた高齢者がだまされる寸劇

み判断力も落ちてきたおじいさんが、パチンコ好きの息子から小遣いを無心されたり、悪徳業者に50万円の布団を買わされたり、親切を装った近所の男にATMで年金を不正に引き出される、という内容です。

成年後見制度は、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、物事を判断する能力が十分でない方を保護し、支援する人（成年後見人など）を選ぶことで、本人の権利を守る制度です。おじいさん役も演じた中



澤さんはこの事例を踏まえて、どんな制度なのか知ることが大事であり、自身または身

の回りにいる認知症や障がいのある方のために考え、将来に向けて備えておくことが必要だと強調しました。

続いて、中澤さんをコーディネーターとする「制度の活用を考える」シンポジウムが行われました。パネリストは、三条市地域包括支援センター東の社会福祉士・平出明彦さんと相談支援センターハートの相談支援専門員・阿部勝良さん、三条市社会福祉協議会の日常生活自立支援事業専門員・吉塚都子さんの3人です。

パネリストはそれぞれの立場から、高齢者と障がいのある方の成年後見制度の活用・利用の現状や成年後見制度と日常生活自立支援事業の違いと題して、仕事の内容や事例、そして課題などについて報告。「本人らしい暮らしをさせたいと思ったら、相談を」、「金銭面で心配があれば三条市の支援制度を利用してほしい」などと成年後見制度の活用を強く訴えました。

機関誌「福祉にいがた」「福祉にいがた オアシス21」の広告募集

「オアシス21」は8・12・3月の年3回（2万部）、「福祉にいがた」は前記を除く年9回（1万5千部）発行しており両者合わせて通年で読者にお届けしております。

配布先は、市区町村社会福祉協議会、保育園を含む社会福祉施設、小学校から大学までの教育機関、銀行や図書館・公民館窓口などであり、幅広い方々の目に触れる機会の多い所です。

社会福祉法人新潟県社会福祉協議会機関誌広告基本料金表

区分	大きさ	掲載料	カラー	半年契約	年間契約
全ページ (裏表紙)	縦25.5cm ×横17cm	14万円	18万円 (20万円)	70万円 カラー90万円	140万円 カラー180万円
半ページ	縦12.5cm ×横17cm	7.5万円	10万円 (12万円)	37.5万円 カラー50万円	75万円 カラー100万円
2 段	縦10cm ×横17cm	6万円	8万円	30万円 カラー40万円	60万円 カラー80万円
1 段	縦5cm ×横17cm	3万円	4万円	15万円 カラー20万円	30万円 カラー40万円

*消費税別 *版下代は広告主負担 *カラーのカッコ内は裏表紙料金

問い合わせ 新潟県社会福祉協議会 企画広報課 ☎025(281)5584

平成29年度 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,320万円	1,800万円	
	後遺障害保険金		1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ			
葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円(限度額)				
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

※天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償します(天災危険担保特約条項)が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

●後遺障害も
フルカバーなので
安心です!!

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花びんを落としてこわした。(賠償責任の補償)
- 自転車車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動や
ボランティア活動の
さまざまな行事における
ケガ、賠償(主催者責任)
を補償!!

保険金額

A・B・Cプラン共通 (A・Cプランは熱中症危険補償特約セット)

保険金の種類		補償内容	
ケガの補償	死亡保険金	400万円	
	後遺障害保険金	400万円(限度額)	
	入院保険金日額	3,500円	
	手術 保険金	入院中の手術	35,000円
		外来の手術	17,500円
通院保険金日額	2,200円		
賠償責任	対人事故	1名・1事故 2億円(限度額)	
	対物事故	1事故 1,000万円(限度額)	

※賠償責任の補償の限度額は、補償の対象となるリスクの種類ごとに適用されます。

保険料(1名あたり)

※詳しい内容は、パンフレットをご覧ください。

Aプラン (宿泊を伴わない行事)			
A1の行事	A2の行事	A3の行事	
1日 28円 (最低保険料 560円)	1日 126円 (最低保険料 2,520円)	1日 248円 (最低保険料 4,960円)	
Bプラン (宿泊を伴う行事)			
1泊2日(2日間)	2泊3日(3日間)	293円	
Cプラン (宿泊を伴わない、かつ参加者が事前に特定できない行事)			
A1の行事			
1日 28円(最低保険料 560円)			

送迎サービス補償

(傷害保険)

- ◆送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

- ◆ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〈SJNK16-16923 2017.2.3作成〉

「にいがた・新テーマ型募金」がスタート

今年度から新たに「にいがた・新テーマ型募金」(募金期間…1月1日から3月31日まで)を実施します。

この募金は助成団体が積極的に募金活動に関わり、寄付者の共感と納得を得て実施する募金であり、県内から11団体のエントリーがありました。

なお、団体の詳細な活動内容等については新潟県共同募金会のホームページをご覧ください。

皆様のご協力をよろしく申し上げます。



新テーマ型募金パンフレット

団体名	活動内容	目標額(千円)
フードバンクにいがた	生活困窮者への食料支援	1,500
教員サポート Smile ういんず	クラスサポート支援	100
オーバージーン	問題を抱える人への支援	3,000
手をつなぐ育成会上越支部	障害者支援	100
さいがためくもりの会	障害者支援施設の運営	200
大杉の里	障害者支援施設の運営	300
みんなでききる	障害者の造形活動の支援	500
地域活動サポートセンター柏崎	地域の諸問題の解決	100
NPOかも小町	認知症カフェの運営など	400
フォルトネット	引きこもりなどの支援	500
立野福祉会	障害者支援施設の運営	500
合計 11 団体		7,200

たすけあい作文コンクール表彰式

第65回「たすけあい作文コンクール」の表彰式が11月18日、新潟ユニゾンプラザで行われました。

今年度は48校から250編の応募があり、入賞6編と佳作20篇が選ばれました。受賞者を代表して本田拓也さんが「人の役に立てる人になりたい」と挨拶しました。

なお、入賞作文は新潟県共同募金会のホームページからご覧いただけます。

県知事賞

上越教育大学附属中学校1年 本田 拓也さん

県教育委員会教育長賞

新潟大学教育学部附属新潟中学校1年 古泉 修行さん

新潟日報社長賞

上越市立高田西小学校5年 内田 心桜さん

NHK新潟放送局長賞

長岡市立青葉台小学校5年 江口りり子さん

県社会福祉協議会長賞

長岡市立青葉台小学校5年 宮下 月希さん

県共同募金会長賞

上越市立城東中学校2年 山本 七海さん



受賞者の皆さん

福祉の店 味わい散歩

好望(まぐさ)

社会福祉法人上越つくしの里医療福祉協会

(糸魚川市南寺町1-1-8)

◇ 8時30分～17時30分

◇ 土・日・祝日休み

◇ TEL 0255(553)2316



名産の丸ナス使ったマドレーヌも好評

「こまぐさ」では、利用

者がセクシオンに分かれて

作業を行っており、製菓部

の「てづくりお菓子ふくふ

く」と弁当部の「弁当こま

めし」では、併せて10人ほ

どの利用者が地元食材にこ

だわった手作りケーキやへ

ルシーな日替わり弁当作り

に精を出しています。

「ふくふく」が製造・販

売しているのは、しっとり

した苦みのガトーショコラ

(150円)をはじめ、レ

モンの爽やかな酸味が特長

のチーズケーキ、口に入れ

ると自然と溶けるきなこ

ボール(ココア、ごま、抹茶

茶味も)、米

粉のシフォン

ケーキ、みそ

クッキーなど

です。

昨年秋から

は糸魚川名産

「越の丸茄子」

を使ったマド

レーヌ「越の



まるナス子」も販売してい

ます。長年、糸魚川市に農

業体験学習で訪れている東

京の中学生が考案したもの

で、ナスをジャム状にして

生地に練り込んでありま

す。甘みがあり肉質のしっ

かりしたナスの味わいが生

きています。

「こまめし」では栄養士

指導の370円(普通)と

低価格の弁当を、注文に応

じて企業やデイケアセン

ター、個人宅に届けていま

す。販売数は1日50食との

ことです。総菜(260円)

の宅配も一人暮らしなどの

高齢者に喜ばれています。

ケーキ類はJ Aひすい直

売所「食彩館」でも購入で

きます。

ず〜む 2018 Vol.25

真冬に感じる温かさ

指折り数え待ち遠しかったクリスマスも、ホッと一息つくお正月も終わり、何も意識せず時間は年を改め、平成29年は過去になる。「もう12月?」「もう正月休みが終わった」。これが年末年始お決まりの会話である。外に行く人は小走りになり、吐息の白さも日々濃くなる。屋内に入れば、寒さでこわばっていた表情は一瞬にして緩む。見慣れた冬の光景である。

そんな中、普段あいさつ程度の近所付き合いしかない人たちが様子を見かねて次々と1台の車に群がってくる。気がつけばこの狭い通りにこれほどの住民が居たのかと思うくらい人であふれていた。

「困ったときには手助けを」「お互いさま」。当たり前のことを当たり前にできるこの地域は私をこんなに温かい気持ちにさせてくれる。これからは、あいさつにもう一言付け加えて世間話をしてみよう、大好きなミルクティーを飲みながら、ふと思うのであった。(三青)

知事に優勝を報告

一緒にハイポーズ



米山知事と一緒に記念撮影。一緒に太極拳の動作

ねんりんピック秋田2017（第30回全国健康福祉祭あきた大会）の太極拳競技で優勝した新潟県チーム「ミューズ」のメンバーが11月28日、県庁に米山隆一知事を訪問、優勝の喜びを報告しました。知事室を訪問したのは、監督を兼ねる相波洋子さんをはじめ、前田久美子さん、大港博子さん、佐藤陽子さん、深沢静子さん、星裕子さんの選手6人と選手団長の関

谷政友・県社会福祉協議会常務理事らです。

大会の様子を聞いた米山知事は、演武曲の「パリは燃えているか」を選んだ理由やチーム名などについて質問。監督の相波さんらは「大きな波のある曲で、動作をバックアップしてくれる」と説明、太極拳について「みんな50代ころから始めている。亡くなった恩師の教えを受け継ぎ、健康のためにも続けていきたい。多くの人にも楽しんでほしい」と答えていました。

続いて、選手6人が深紅のユニフォームで優勝の演武を披露、記念撮影では米山知事も一緒に太極拳の動きを試していました。

ねんりんピックは、全国の元気なシニアが集うスポーツを中心としたイベントで、1988年から毎年開催されています。今大会は、9月9日から12日まで秋田県で開催され、本県からは115人の選手が16種目に出場しました。

平成29年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために！

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	死亡10万円 後遺障害0.3~10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)	死亡10万円 後遺障害0.3~10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)
	傷害見舞費用	死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円	

保険期間1年

▶ 年額保険料(掛金)

	定員	基本補償(A型)
基本補償(A型)	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	以降1名~10名増ごと	1,500円
見舞費用(B型)	基本補償(A型)	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円
	保険料	



スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員の補償

プラン4 社会福祉法人役員等の補償

◆ **29年度新設** 看護師の賠償責任補償(プラン1-①オプション2)

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

引受幹事/損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

〈SJNK16-16919 2017.2.3作成〉

新潟の妖怪

雪太郎は東頸城地域に残る伝説です。子どものいない老夫婦のもとに、冬の間だけ現れてその家の子どものように振る舞い、老夫婦が亡くなると姿を現さなくなったという伝説です。

1月14から15日の間に小正月の祝いをする風習があります。小正月の行事は餅

雪太郎

老夫婦いたわる心優しき雪の精

や煎餅をたくさん下げたマユダマ（団子木）を飾って「この木のように実りがたくさんありますように」と祈ったり、「成木責め」という、「実が）ならないと切るぞ」と木を脅して豊作を祈る行事があります。これは、豊作をあらかじめ祝うということ、で、「予祝行事」といわれています。

また、「鳥追い」という行事があります。これも田畑を荒らす鳥を追い払っておく予祝行事の一つです。この鳥追いは、子

どもたちの仕事です。夜、鳥追い歌を歌いながら集落内を回り、家々からお菓子やお小遣いをもらい歩きます。

子どもたちは、かまくらのような形の「鳥追い堂」「ほんやら堂」などと呼ばれる雪のお堂で、集まったお菓子を食べたりして遊びます。また、各家の前でもその家の子どもたちが鳥追いの歌を歌うところもあり、子どものいない家では大人が歌うしかなく、哀れな感じであったと聞いたことがあります。

そんな家に現れた雪太郎は、優しい雪の精霊のように思われます。老夫婦とても善良な夫婦だったと言います。そんな話が安塚の菱ヶ岳が見える地域で複数残っています。

文・絵 高橋 郁丸

（新潟県民俗学会理事・

新潟妖怪研究所長）



新潟ユニゾンプラザ 情報

◆主な貸室の紹介 【和室】

【広さ】 20畳
(座卓6卓、座椅子24本)

地域の集会やサークルの集いの場、茶道・華道のお稽古、趣味などに広くご利用いただけます。



貸ホール・貸会議室は新潟ユニゾンプラザへ

多目的ホール、大会議室、大・中・小研修室など用途や規模にあわせてご利用いただけます。

無料の専用駐車場（220台）を完備しております。

◆貸室の利用申込方法

ユニゾンプラザホームページよりお申し込みください。貸室の予約状況も公開しています。

URL：http://www.unisonplaza.jp/

【小研修室1～4】

【定員】 24～40名
【広さ】 81～102㎡



会議・セミナー・教室など幅広い用途にお使いいただけます。

跳ね上げ式テーブルにより、配置換えの移動も容易にできます。

福祉の現場

剣持 崇紀さん
(司法書士剣持崇紀事務所所長)

No.26

先ごろ、新潟家庭裁判所より受任決定の通知が届き、これにより湯沢町社会福祉協議会を受任団体とする「湯沢町法人後見事業」として初のケースが具体的に始まりました。湯沢町社協では平成27年度から、弁護士や司法書士、社会福祉士、介護サービス事業所、行政職員などによるプロジェクトチームを立ち上げ、制度の利用について検討を重ねました。このチームの一員で、法人後見事業を推し進める運営委員会を束ねる委員長を務めています。



利用者の人生に敬意払い、その暮らしサポート

成年後見の対象となる方は、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、自分で正しい判断が十分にできなくなった方々などです。住み慣れた地域で安心して暮らせるように、法人後見制度は、判断能力の低下の度合いによって後見、補佐、補助の3種類からなっています。

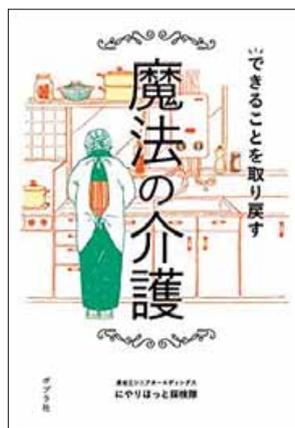
「ご本人や親戚の方には丁寧な説明を心掛けています。また、ご本人は今までばかり頑張り続けてくれたのだと思います。敬意を持って接することが大事だと思えます」。心構えです。穏やかな語り口、そして笑顔が絶えません。

京都の大学を卒業して4年後の平成14年、古里の湯沢町で事務所を開設しました。学生時代は司法書士になるなど考えもしなかったとのことですが、父親の助言もあり司法書士に。そこで成年後見についての相談を受けたことが福祉と関わる契機となったと言います。湯沢町社協の評議員としても地域福祉に尽力しています。

商工会の理事などを務め、消防団にも籍を置く忙しい日々ですが、家に帰れば妻と4人の娘が待っています。高校時代は円盤投げの選手だったそうです。

◆「ご意見」感想お寄せください
「福祉にいがた」について、ご意見、ご感想、知りたいテーマなどございましたら左記までお寄せください。
◆TEL 0950-85575 新潟市中央区上所2-2-12
◆新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課
◆ファクス 0255-281-5528
◆Eメール oasis@fukushininigata.or.jp

新潟ユニゾンプラザ ライブラリー NEWS



できることを取り戻す
魔法の介護

◆著者：やりほつと探検隊
◆発行：ポプラ社

事故防止のための「ヒヤリハット」から、視点を変えた本人の「好きなこと」「得意なこと」「これまでの習慣」に注目し、具体的なケアに生かすことでポジティブな気持ちと健康的な生活を取り戻す。そんな現場の取り組みを、家庭向けに紹介した介護の新しいスタンダードともなる一冊です。

問い合わせ 新潟県社会福祉協議会 新潟ユニゾンプラザ図書情報ルーム ☎025-281-5514

一紹介した資料のほか、福祉や女性に関する図書やDVDの貸出をしています一

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5584
発行人／関谷 政友
定 価／5円（会員の購読料は会費に含む）

福祉にいがた
平成30年1月1日発行（毎月1日発行）
昭和27年9月16日 第三種郵便物認可
印刷／島津印刷㈱